

令和2年5月31日

関係各位

一般社団法人和歌山県バスケットボール協会
会 長 豊 田 進
U12部会長 川 端 祥 司

第21回和歌山県夏季ミニバスケットボール大会の中止について

平素は当協会並びに当部会の活動に際し、ご理解ご協力いただき深く感謝申し上げます。
また、今回の新型コロナウイルス感染症に際しましては、厳しい対応を迫られていることと御案じ申し上げます。

さて、5月28日(木)に公益財団法人日本バスケットボール協会(JBA)の「新型コロナウイルス感染症対策の方針」が更新されました。この中で、「緊急事態宣言は5月25日(月)には全都道府県で解除されたが、各都道府県によるスポーツ活動再開に関する指針は異なっており、全国一律の状況ではない」「47都道府県バスケットボール協会等に対して、その活動の再開に際しては地域の実情を考慮し、政府、自治体、医療機関及び保健所等の公的機関の決定、要請、指示に従っていただくよう、引き続き要請する」こととなっています。

本県では、5月末で各学校の臨時休校が終了し、6月より再開されますが、当面は分散授業を行う学校が圧倒的に多く、その期間中は、体育の授業でも、個人や少人数で、密集せず距離を取って行うことができる運動を行い、身体が接触するような活動は避けることになっています。また、いわゆる「3密」の内の「密接」と「密集」が避けられない競技特性を持つバスケットボールについて、県内の公営の体育館によっては、6月中旬まで試合での使用を禁止しているところも少なくありません。

以上の状況から、標記大会を当初の日程で開催するには、子どもたちの練習時間があまりにも少なく、練習不足によるケガや熱中症の危険性が大いにありと判断し、育成と安全確保の観点から、標記大会を中止することといたしました。

今年度最初の大会を開催できないことは大変残念ではありますが、北九州や東京では第2波的な感染再拡大も見られ、依然楽観できない状況が続く中では、子どもたちの安全を第一に考え、苦渋の決断をしなければならないことを、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

※参考資料：公益財団法人日本バスケットボール協会ホームページより

「【重要】新型コロナウイルス感染症対策について(5/28時点)」

<http://www.japanbasketball.jp/news/55207>